

第2回横浜市中区精神障害者生活支援センター指定管理者選定評価委員会（第2期） 会議録	
日 時	令和4年6月3日（金）14:00～
開 催 場 所	市庁舎 18階 なみき 16会議室
出 席 者	【選定委員】伊東委員長、池田委員、西川委員、平濱委員、森谷委員 【事務局】高橋障害施設サービス課長、坂井地域施設支援係長、大屋職員、村本職員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（傍聴人なし）
議 題	1 応募団体の面接審査 2 採点表確定に向けた意見交換 3 採点結果確定 4 審査総評意見交換 5 審査総評案確定
決 定 事 項	応募団体の審査を行い、次のとおり、中区精神障害者生活支援センターの指定管理者の候補者を選定した。 1 指定管理者の候補者 公益財団法人 紫雲会 2 次点候補者 なし
議 事	1 開会（事務局） 選定委員5名中5名が出席。過半数を超えているため、本委員会は成立。（自己紹介は割愛する） 2 本日の流れの説明（事務局） 応募団体の面接審査後、採点を行い、採点結果の確定を行う。 その後、審査総評案の確定を行う。 3 中区生活支援センター応募団体による面接審査 (1) 応募書類の確認 事務局より、下記について説明及び報告を行った。 ・応募団体 公益財団法人 紫雲会 ・財務状況 配布の財務分析結果の確認 ・市税納付状況 調査中（「滞納なし」を後日報告） ・暴力団関係照会結果 該当者なし (2) 応募団体プレゼンテーション及び面接審査 団体から、団体の概要、事業計画等について説明。その後、応募団体と委員の間でヒアリング（質疑応答）を実施。

<p>主な質疑や 意見</p>	<p><主な質疑応答></p> <p>(委員) 教育機関への普及啓発の具体策はなにか。</p> <p>(団体) 近年は「いじめ・不登校」のニーズが出てきたので検討している。地域のつながりの中で学校へのアプローチを検討している。</p> <p>(委員) 勤続年数の長い職員が多いメリットとデメリットはなにか。また法人内での人事の交流・人事異動はあるか。</p> <p>(団体) 人事異動は少ないが職員間交流は増えている。メリットは中区のことを深く理解して、継続して支援を構築できる。デメリットは同じ利用者一人の職員が関わり続けることで無意識でも偏りが出てしまう。これはスーパービジョン等職員間の共有などで解決している。</p> <p>(委員) 依存症についての具体的な方策は何か。また家族支援に目を向けた具体策は何か。またサポートを求めない家族へのアプローチの工夫はあるか。</p> <p>(団体) 依存症については区内にある専門施設と連携して支援している。家族支援については家族の負担を軽減するための支援と、キーパーソンとしての家族が本人を支えることについての後方支援の2つがある。家族も含め、医師が相談対応してサポートすることもある。また、高齢の親のケースなどはケアプラザからの相談もあり、区や訪問看護事業所と一緒に訪問し、家族の話と本人の話を両方聞く。家族会と一緒に訪問するなど考えている。</p> <p>(委員) 離職率が低い理由はなにか。</p> <p>(団体) 職場内の人間関係が離職理由となりうるので、相談できる関係づくりをしている。施設内だけではなく法人全体で「報告・連絡・相談」を徹底している。</p> <p>(委員) 地域調査・診断について方法を具体的に説明して欲しい。</p> <p>(団体) 区・基幹相談支援センターと中区全体を診断することにしたが、まずは「寿地区」を行った。充実してきた福祉の中でもまだ支援者が課題と感じているところを支援者側の立場からの視点で課題を挙げてもらうアンケートを行った。再度現状調査をして今後の方針を検討していく。</p> <p>(委員) 虐待防止の取組についてどうか。</p> <p>(団体) マニュアルを作っている。施設から法人へ速やかに連絡し、医師が対応することができるようにしている。</p> <p>4 採点表確定</p> <p>(1) 採点表確定に向けた意見交換 特になし</p> <p>(2) 採点表の確定 プレゼンテーション及び面接審査を受けて評価を行い、各委員の評価結果を集計した結果、全ての委員採点の平均点が120.4点で、最低基準である80点以上となっているため、公益財団法人 紫雲会を中区精神障害者生活支援センターの指定管理者の候補者として選定した。</p>
---------------------	--

中区精神障害者生活支援センター

	応募団体	得点
指定候補者	公益財団法人 紫雲会	総得点 602 点 平均点 120.4 点

5 審査総評の確定

- (1) 審査総評の確定に向けた意見交換
- (2) 審査総評の確定

<主な意見>

- ・ 中区の地域性である多様なニーズに対応している。
- ・ 数字など可視化できた実績報告があるとよかった。
- ・ 古くから精神医療の医療機関を運営している法人であり、医療との連携にも力を入れている。
- ・ 人材の処遇・育成について意識した取り組みを行っている

(審査総評)

医療との連携という法人の強みを活かし、中区の多様な地域性をよく認識して支援を行っている。

職員の勤務条件改善にも努め、職場定着や専門知識の蓄積に取り組んでいる。
今後も区内関係機関と連携した更なる事業展開に期待したい。

6 その他（事務局）

- (1) 指定管理者となるまでの今後の流れ等について、事務局より説明。
- (2) 議事録作成について
事務局にて作成し、確定次第、本市のウェブサイトに掲載する。
- (3) 選定結果報告書について
内容確定次第、横浜市長に報告する。

資料
特記事項

1 資料

過去の横浜市精神障害者生活支援センター指定管理者選定 委員会選定結果報告書における審査総評について（参考）

2 特記事項

委員会の議事録は、議事の要旨を横浜市ホームページに掲載する。